

評価の目安（案）

事業について【事業の実施状況】【課題への取り組み状況】【連携の取り組み状況】の 3 つの観点から、それぞれ自己評価をお願いします。

評価にあたっては、下記の目安を参考に、適当と思われる評語（S・A・B・C・D）を記入してください。

①【事業実施状況の評価】・・・【事業】

事業の実績や成果、進捗を評価してください。

- <S> 数値目標や事業実施による獲得目標（効果や状態）を上回る成果を得た（※）
- <A> 数値目標や事業実施による獲得目標（効果や状態）を概ね達成した
- 数値目標や事業実施による獲得目標（効果や状態）を一定程度達成した
- <C> 数値目標や事業実施による獲得目標（効果や状態）を下回った
- <D> 数値目標や事業実施による獲得目標（効果や状態）を大きく下回った

※前年度までに達成した目標と同じ目標を設定していた場合、目標を上回る成果を得た場合でも評価は A としてください

②【課題への取り組み状況の評価】・・・【課題】

前年度、事業の課題としていた事柄に対する取り組み状況を評価してください。

- <S> 課題に取り組み、解決が図られた
- <A> 課題に取り組み、解決に向けて想定する成果を得た
- 課題に取り組み、一定の成果を得た
- <C> 課題への取り組みについて、課レベル以上で検討したが組織内に留まる
- <D> 課題への取り組みは行っていない

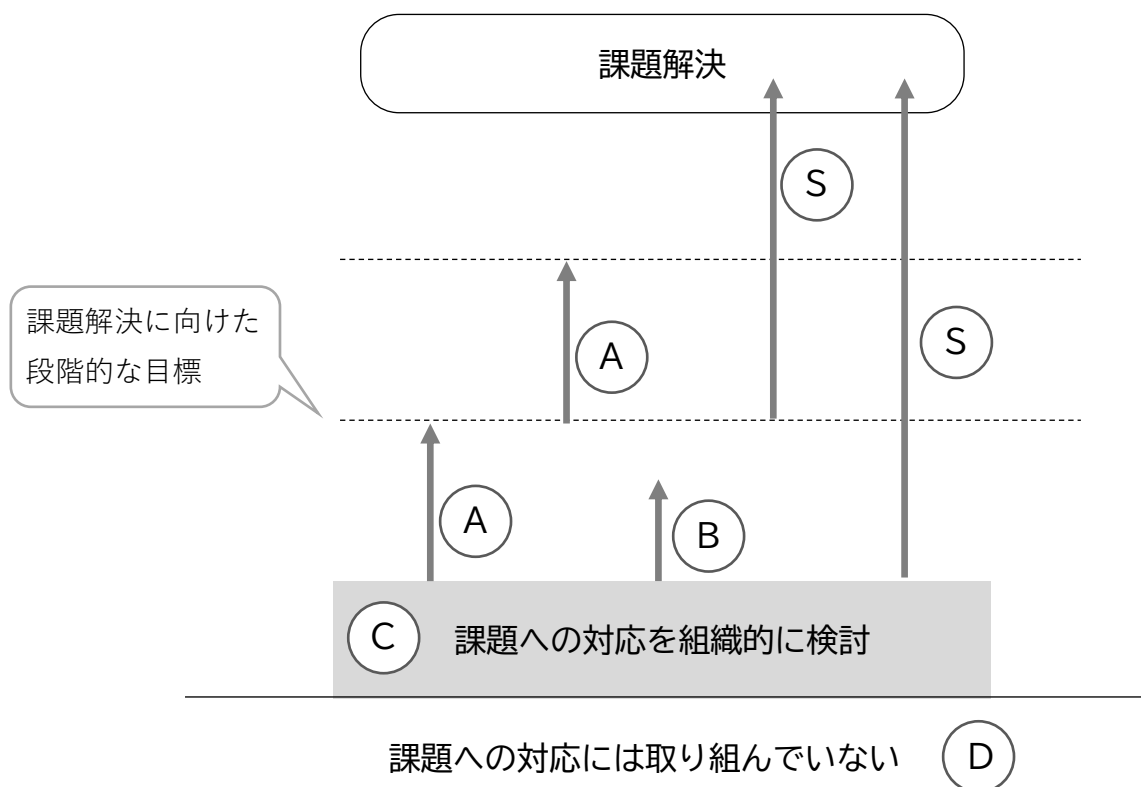
③【連携の取り組み状況の評価】・・・【連携】

庁内外との連携の取り組み状況について評価してください。部署外との連携が不要の事業は N/A を選択してください

- <S> ・相互に主体的な協力関係ができており、常に事業の充実が図られている
・連携の拡充（既存の連携の強化または連携先の新規開拓）により、十分に〇〇することができ
きるようになった
- <A> 連携の拡充により、〇〇することができるようになった
- 連携の拡充により、一定程度〇〇することができるようになった
- <C> 〇〇することができるように連携拡充の取り組み（関係先への働きかけ等）を進めた
- <D> 事業実施において〇〇することができるように連携の拡充を図る必要があるが、特に取り組みはしなかった

評語	事業の実施状況の評価	課題への取り組み状況の評価	連携の取り組み状況の評価
	事業の実績や成果、進捗状況を評価してください。	前年度の評価の際、課題としていた事柄に対する取り組み状況を評価してください。課題がなかった場合は N/A を選択してください	庁内外との連携の取り組み状況について評価してください。部署外との連携が不要の事業は N/A を選択してください
S	数値目標や、事業実施による獲得目標（効果や状態）を上回る成果を得た 〔 前年度までに達成した目標と同じ目標を設定していた場合、目標を上回る成果を得た場合でも評価は A としてください 〕	課題に取り組み、解決が図られた	<ul style="list-style-type: none"> ・相互に主体的な協力関係ができており、常に事業の充実が図られている ・連携の拡充（既存の連携の強化または連携先の新規開拓）により、十分に〇〇することができるようになった
A	数値目標や、事業実施による獲得目標（効果や状態）をほぼ達成した	課題に取り組み、解決に向けて想定する成果を得た	連携の拡充により、〇〇することができるようになった
B	数値目標や、事業実施による獲得目標（効果や状態）を一定程度達成した	課題に取り組み、一定の成果を得た	連携の拡充により、一定程度〇〇することができるようになった
C	数値目標や、事業実施による獲得目標（効果や状態）を下回った	課題への取り組みについて、課レベル以上で検討したが組織内に留まる	〇〇することができるように関連先への働きかけ等を進めた
D	数値目標や、事業実施による獲得目標（効果や状態）を大きく下回った	課題への取り組みは行っていない	事業実施において〇〇することができるように関連先への働きかけ等を進めた
N/A			連携を要しない事業である

■課題への取り組み状況の評価イメージ



■連携の取り組み状況の評価イメージ

